

令和 8 年度第 1 回仙北地域協議会会議録

令和 8 年 5 月 2 7 日

仙北地域協議会

令和8年度第1回仙北地域協議会会議録

目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■支所長あいさつ	2
■会長、副会長の選任	2
■会長あいさつ	3
■副会長あいさつ	4
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
■協議	10
■その他	11
■閉会	14
■署名	15

令和8年度 第1回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和8年5月27日（水） 午後2時00分

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：9名

大 野 正 美、加 藤 和 浩、小 松 彩 香、小 松 徹、小 松 利 也
須 田 綾 子、土 井 敦 子、室 谷 裕 子、吉 田 和 博

■欠席委員：5名

大 河 真 澄、佐 藤 立 哉、柴 田 千 春、鈴 木 弘、風 登 若 子

■出席職員：7名

佐々木 博 喜(仙北支所長) 竹 村 智 子(市民サービス課長)
渋谷 亘(農林建設課長) 冨 樫 康 隆(公民館長)
碓 谷 真 澄(地域活性化推進室副主幹)
竹 村 圭 太(地域活性化推進室主事)

■次 第：

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 支所長あいさつ(職員紹介)
- 4 会長、副会長選任
- 5 会議録署名委員の指名
- 6 報告
 - (1)令和7年度地域枠予算執行実績報告について
 - (2)仙北地域振興計画の進捗状況について
 - (3)令和8年度仙北地域の主要事業について
- 7 協議
 - (1)地域公共交通活性化再生協議会委員の選任について
- 8 その他
 - (1)令和8年度地域協議会全体研修会について

(午後2時00分 開会)

○地域活性化推進室 碓谷副主幹(以下「碓谷副主幹」と表記)

本日はお忙しいところをご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、令和8年度第1回仙北地域協議会を始めさせていただきます。はじめに委嘱状の交付を行いますので、お名前を呼ばれた方はその場にご起立くださるようお願いいたします。

○委嘱状交付

○碓谷副主幹

ありがとうございました。次に佐々木支所長よりご挨拶を申し上げます。

○佐々木支所長(以下「支所長」と表記)

おつかれさまでございます。

本日は、ご多忙の中、第1回仙北地域協議会にご出席いただき、ありがとうございます。今年度から第7期目ということで、さきほど、再任の方9名、新任の方5名、計14名の皆様に委嘱状を交付させていただきました。委員の皆様には、市民と行政との協働・共創の実現に向け、3年間の任期期間中、ご難儀をおかけいたしますが、お力添えのほど、お願いいたします。さて、週末はちょっと肌寒い感じもありましたが、夏のような暑さがましている中、地域内では田植え作業が順調に進んで終盤にむかっているものと思っています。ツキノワグマの話題になってしまいますが、市内、全国でも出沒があいづ、仙北地域でも先週、出沒してしまっています。当地域では春先と冬の始まりに出沒傾向があるようですが、どうかお気をつけてお過ごしいただきたく思っています。大仙市では、今年度からむこう10年間の第3次総合計画がスタートしております。そして、例年のように地域、市内でのイベント等が各種予定されています。本協議会におかれましても、各分野、各方面からのご意見を頂戴し、充実した会となり、元気で活力ある史跡の里になりますよう、ご協力をお願い申し上げます。本日は、令和7年度地域枠予算執行実績、仙北地域振興計画の進捗状況、令和8年度仙北地域の主要事業の報告が3つと、協議案件として、地域公共交通活性化再生協議会委員の選任など、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。長くなり恐縮ですが最後に、今年度1回目の会議ということで、本日出席の職員を紹介させていただきます。

(職員紹介)

本日はよろしくお願いいたします。

○碓谷副主幹

ありがとうございました。本日は第7期の地域協議会として最初の会となりますので、大仙市地域協議会自治区設置に関する条例第6条の規定により会長と副会長を選任したいと思います。互選の方法も含めまして皆様よりご意見をお伺いしたいと思います。どなたかご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

○加藤和浩委員

事務局案があれば発表いただきたいと思います。

○碓谷副主幹

はい、ありがとうございます。事務局案ということでお声がありましたがよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは事務局案としまして会長を小松利也様、副会長を吉田和博様をお願いしたいと考えておりますが皆様いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。それでは3年間大変ご難議をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。会長、副会長は席をご移動いただき、一言ご挨拶をお願いいたします。

○小松会長(以下「会長」と表記)

皆さんこんにちは。仙北地域協議会2期目です。3年前に初めて協議会に入りましたが、あっという間の3年間で、今回2期目となりまして、会長をさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。普段、仕事は大仙市内で高齢者介護の仕事をしております。市内2箇所で施設を運営しています。出身は戸地谷の川前になります。史跡の里づくり委員会など、払田柵の祭りの委員会にも関わらせていただいていますので、そういったところからの意見なども私の方からお伝えできればと思いますので、3年間どうぞよろしくお願いいたします。

○碓谷副主幹

ありがとうございました。次に吉田副会長お願いいたします。

○吉田副会長(以下「副会長」と表記)

はい。吉田と申します。今回2期目となります。3年間地域協議会で、地域の課題等を色々勉強させていただきまして、今年度副会長に就任させていただくということになりました。最初の時は、自分の思ったことを好き勝手にお話ししまして、事務局側に変な迷惑おかけしたかなと思っております。今年度は物事を対局的に考えて、皆さんの少しでもお役に立てるようこの役職を務めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。話は変わりますが、山口県のほうで、住民税43億が周南市から周防大島の方に動いたという話を聞きになった方もいらっしゃるかと思います。この方は、ジェームス文護さんという方で、実業家であります。この方がなぜ周南市から周防大島へ住民税43億円分、まるっと抱えて移住したかと言いますと、周南市では、ジェームス文護さんが提案されたことや訴えを国や県から降りてきた事務を行うことが忙しく、よく提案や訴えを聞いていただけなかったというお話でして、ジェームスさんが周防大島へ移住されたことにより、住民税約43億円の税収が動いてしまったということでございます。周南市はご承知の通り、山口県にあり、出光興産などの大きな工場がありまして、おそらく生活に欠くことのない素晴らしい町なんですけれど、なぜジェームスさんが周防大島に移住されたかということを見ても、周南市には、物語性のある未来がないという判断をしたことが、経緯の様でございました。物語性のある未来というのは、自分の人生において意味のあるまち、自分が思い描く未来に対して一緒に共に歩んでいけるようなまちではなかったということでございます。ここ仙北地域協議会におきましては、皆さんの貴重な意見をいただきながら、共に歩んでいける未来あるまちとなるよう、微力ではありますが、皆さんの活発な意見を頂戴しながら進んでいきたいと思っておりますので、どうぞ3年間よろしくお願いいたします。

○碓谷副主幹

ありがとうございました。この後の進行につきましては条例の規定に基づき小松会長にお願いいたします。

○小松会長

はい。それでは着座にて進行させていただきます。それでは会議を始めます。本日、大河真澄委員、佐藤立哉委員、柴田千春委員、鈴木弘委員、風登若子委員より欠席の届け出が出ておりますが委員の1/2以上の方が出席されておりますので会議が成立していることを報告いたします。次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、大野正美委員と加藤和浩委員にお願いいたします。それでは議事を進めてまいります。次第にある報告(1)の令和7年度地域枠予算執行実績報告について事

務局よりご説明をお願いいたします。

○碓谷副主幹

【資料1に基づき説明】

○会長

それではただ今の説明につきましてご質問、ご意見がございましたらお願いします。

ご質問ご意見等ございませんので、次に(2)の仙北地域振興計画の進捗状況について事務局より説明をお願いします。

○碓谷副主幹

【概要について説明】

○支所長

○市 民サービス課 竹村課長(以下「市民サービス課長」と表記)

○農 林 建 設 課 渋谷課長(以下「農林建設課長」と表記)

○仙 北 公 民 館 富樫館長(以下「公民館長」と表記)

【資料2に基づきそれぞれ説明】

○会長

ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問やご意見がございましたらお願いします。

内容と関係ないかもしれないですけども、防災無線が令和4年で放送中止になる頃から、熊がどんどん出てきたんじゃないかなというように、ちょっと感じました。というのは、朝と夕方にあの音楽とか流れて、それで熊が山の奥に引っ込んでいたのでは、などというように、あの放送が中止した時期と熊が増えてる時期と重なってくるのかなという風に感じましたね。この間ですね、北海道から秋田に転勤してきた保険会社の方とお話する機会がありまして、大仙市は道路の補修がすごく早くてびっくりしたという話をうかがいました。その際に、LINEで、道路に穴があればそれを写真に撮って、その場で地図もタップして、即送れるというのがありますよと言ったところ、そのような取り組みしてる自体が他にはないですという話を聞きました。すごく画期的な取り組みだなという風に感じております。

他に何かございませんか。

○副会長

すみません。この第3次大仙市総合計画は、各家々に配られているものでしたか。

○支所長

お配りしたものは冊子になっておりますが、実際のものはもっと厚い計画書となっておりますので、残念ながら、各家々までは配布になっておりませんが、ホームページでは公開されております。まず、地域地域協議会の皆さまへお渡しする分ということで、概要版とはなりますが、お配りさせていただいたところでした。

○副会長

はい、ありがとうございます。一点気になったのが、秋田県は高齢化の最先端ということで、4ページの人口を見たら、もう35年後には、人口3万人くらい、就労人員が1万5,000人くらい。このような中で、大仙はどのようにして東京23区程度のものを運営していくのかというのを、今現在なんらかのビジョンはあるのでしょうか。

○支所長

こちらの計画、向こう10年計画になっております。この計画自体は、10年間というわけなんですけども、今副会長がおっしゃったように、将来的には本当に人口が減っていくことは見えてはおりますが、必ずこの推計の通りにいくかも分からないというのは、現実にございます。とにかくまずは10年先を見据えて、10年先どういう風にしたいかということを考えて、逆接的に今の計画を作るという手法で今回計画を策定したようです。将来的なビジョンというのは、10年をどのようにしたいかということを目的として作りながらも、実際にどのような道筋を辿るかまでを深く掘って策定しているかとは思いますが、詳細まで把握できておらず申し訳ありません。将来的なビジョンとしては、まず10年先を見据えた計画を策定しているということでございます。

○副会長

ありがとうございます。

○会長

その他に何かございませんか。

○小松徹委員

今小中学校の合併が進んでいると思いますけれども、合併になった場合に高梨小学校と横堀小学校、幼稚園保育園の今の建物はどうなっていく感じでしょうか。

○支所長

統合の話は、令和13年が中学校で、令和14年が小学校というように統合され、東部地区の太田、中仙、仙北地域が一緒になるということで進められております。太田、中仙については先行して小学校が、来年度から一校にまとまるってようなことで進んでおります。今のご発言にありました、統合後の校舎の利用については、一般的な手法になるわけなんですけれども、貸し付けをしたり、あるいは今議論の中で出てるのは、残念ながら解体してしまわないと、いつまでも残ってしまうことで、どんどん老朽化し、傷みが進み、処分が大変になってくるという話も出ておりますので、解体という手法と、色々と模索をしながら進めていくというようなところで、議論も進めている次第です。まだはっきりとした方針が決まっておらないのが現状です。

○小松徹委員

学校給食センターは3月末でもう閉鎖になってますけれども、何か活用されるものでしょうか。

○公民館長

3月末で廃止、閉鎖となったわけですが、当面は仙北支所の市民サービス課の所管となり管理していくという形で今現在は進めております。いずれ、こちらも、もし借りたい業者さんとかがいるとすれば、そこから先のお話になってくるかと思しますので、まず当面は存続させる方針とかがっております。

○会長

それではその他のご意見やご質問などございませんか。

○小松彩香委員

この資料の中で、実施の有無の欄が1回も実施ありの丸がついていない項目がいくつかあるんですけど、それは目標取り組み内容として設定はしたけど、1回も実施することができなかった項目ということでしょうか。

○支所長

はい。おっしゃる通りです。残念ながら、計画は立てているんですけれども、実際の実施までには至らなかったということで、丸印をつけれてないところもあります。何もやらなかったっていうわけではなくて、色々考えたんだけど実施には至らなかったというものも当然中にはあると思います。あとは、途中からやり始めたもの、あるいは目標が達成したものについては、丸印が途中で止まったり、途中から始まったりという状況になっているかと思えます。簡単な回答になってしまいますけれども。

○小松彩香委員

項目によっては、例えば福祉の部分とか1ページ目の福祉の項目は、丸がなくて、10年間あったのに丸がないのが他にも結構ありまして、残念だったなと思ってでした。

○支所長

今おっしゃっていただいたのは、1ページ目の4番の項目、地域の(1)の高齢者向けのサークル活動の実施についてであると思いますが、現在は本庁の方で大仙市全体としてやってるってようなものもあります。全部を地域でもできれば1番良かったわけなんですけれども、やりきれなかったところは申し訳なく思っているところです。

○会長

その他に、ご意見ございますか。

○土井敦子委員

私、弘田の民生委員をさせていただいておりますけれども、高齢者宅を回っていますけれども、防災ラジオの利用がうまくできなくて、情報が全く分からないという話を聞くことがあります。熊が弘田地区に出た時もあったんですけれども、その時も情報が分からなくて、すごく怖いなと思ったと。災害になっても、うまく情報を取り込めないうために困っているという話をよく聞きました。日頃からFMはなびを聞き、理解と親しみを深めるという項目とか、あと実施内容にフォローするという項目も入っておりますので、私たちも高齢者宅を巡回した時には声かけやFMはなび情報と、お話しはしてるんですけれど、日頃からラジオをつけるような行政側の取り組みなどがあったら、もっと活用できて、防災意識も高まるのかなということを感じました。

○支所長

いずれ防災ラジオについては、私事になるんですけど、私の両親も使いこなせていないという現状があります。防災無線がある時はやっぱり防災無線からすぐに情報が流れますが、防災ラジオについては、やはり大仙市全体にかかる情報が多く流れたり、緊急を要する場合のものが流れていますので、地域密着型のラジオというわけにはいかないというのが1つの原因としてあります。それをフォローするために、先に熊の話もありましたけれども、農林建設課の方で熊が出た地域には、広報車でパトロールをしたり、当然警察の方もパトロールもしてくださってアナウンスなどはしております。細かいところまでお知らせできれば一番いいところではありますが、防災ラジオには、そういった制約がありますが、今後、ラジオを活用できるような周知の仕方をしていけばいいかなというように思っているところです。直接家々に流れるスピー

カーなどがあれば直接お伝えできるのですけれども、そこまでは防災ラジオでは難しいというのが現状です。

○小松徹委員

先日ですね、美郷町のイオンのところで出たんですよね。街中だったんですが、たまたま私イオンに居たんですが、防災無線が聞こえてきたわけですよ。防災無線が聞こえる地区っていいものだなと、ピンポイントで情報が出せるということがいいもんだなというふうに思いました。ですので、そういうピンポイントに出せる情報をなんとかできないものかということです。例えば 何か連絡があって、学校とかは学校から親のスマホに連絡が入って、今日迎えに来て下さいというふうなものがありますよね。そのようなシステムで、例えば地区の代表の方のスマホに連絡を入れたり、合わせて農林建設課の方で重点的にパトロールするとか。この前は川前に熊が出た時は広報車が1回しか来ませんでした。もう少し巡回して欲しいなという思いになりました。

○農林建設課長

熊の話題が多数出ておりますので、私の方からお話させていただきます。熊の情報につきましては、現在「クマダス」というのが秋田県でございますので、県庁のLINEからクマダスがリアルタイムで見れるようになってございます。仙北地域の場合は、山がないため、熊が住んでいることはありませんので、ほぼ通りすがりであります。住宅地ですので、ほぼ1頭の熊が通る度に、点々と地図に印がつき、クマダスに目撃情報が入っております。5月6日の日も熊の目撃情報があり、私も出ておりますけど、6回ぐらい細かくクマダスに投稿してもらっていたので、そちらを活用できれば1番分かりやすいのかなと思っております。広報周知としましては、我々農林建設課と警察の方とで周知してございます。目撃情報のあった地域を重点に回っておりますが、熊も動いておりますので、すでにそこにはいないことが多いわけですが、目撃情報があった場合は、市長からもなるべくゆっくり回って周知するようにと命じられておりますので、今後はさらにゆっくり回っていくように考えてございます。以上でございます。

○会長

はい。ありがとうございます。では、須田委員お願いします。

○須田綾子委員

すみません。私よくわからなくてあれですが。私も自分の身近にラジオがないので滅多に聞かないんです。スマホに大仙市からの情報が来るじゃないですか。熊が出たとか、もちろん詐欺もあるんですけども。それも手段の1つと捉えていいんですか。

○支所長

大仙市のLINEということですね。大仙市全体なんですけども、どこそこ地域に出ていますのでご注意くださいというような感じで流れます。どちらかというとし街地など人が密集してるような危険性の高い場所であれば出せるんですけども、さすがに山奥に出たですとか川に出たですとか、全部拾って流してしまいますと、どれが本当に危険度の高い情報かがわからなくなってしまうので、厳選して大仙市で流しています。

○須田綾子委員

私にはそれだけでも助かります。

○支所長

先ほど農林建設課長の説明にあったように、大仙市のLINEと同じように秋田県のLINEがありまして、そちらとクマダスが連動していますので、それも活用いただければ、より大仙市に特定してあの情報得ることができます。

○会長

はい、ありがとうございました。その他、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。では、ないようですので次に進めさせていただきます。(3)令和8年度仙北地域の主要事業について事務局より説明をお願いいたします。

○支所長

○市民サービス課長

○農林建設課長

○公民館長

【資料3に基づきそれぞれ説明】

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問やご意見がございましたらお願いします。ソラーレができて、あの辺りに人がすごい来てるなっていうのはなんとなく分かってたんですけど、先ほどの説明で15万名ほど来てるということで非常にあの辺りが盛り上がってるんだというのが、改めて数値として見れたところかなと思いました。質問などないようであれば次に進めさせていただきます。次に7の協議(1)地域公共交通活性化再生協議会委員の選任について事務局より説明をお願いいたします。

○碓谷副主幹

【委員概要について説明】

○会長

はい、ありがとうございます。ただ今事務局から説明がありましたが、この委員の選考についてご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

特に意見がなければ事務局案があればお願いします。

○碓谷副主幹

はい。事務局案としましては、前期に引き続きまして加藤和浩委員へお願いしたいと考えております。加藤委員は長年の間社会福祉協議会に勤務されておられまして、社会福祉の観点からも適任と考えており、引き続きお願いできればと思います。

○会長

ただいま事務局案として加藤和浩委員にお願いしたいとのことでしたが、いかがでしょうか。加藤委員よろしいでしょうか。

(拍手)

○会長

加藤委員には大変ご難儀をおかけしますがよろしく願いいたします。

次に8のその他(1)令和8年度地域協議会全体研修会について事務局より説明をお願いします。

○碓谷副主幹

【資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明につきましてご質問等ありましたらお願いします。

大仙アカデミーの講師株式会社オガールの岡崎正信さんは約10年ほど前に講演会で大仙市に来ていただいて、その際に公共施設の建て方などを、今までと違う発想でやったということで、全国各地から講演会に呼ばれてる方です。10年前に呼んだ時は、青年会議所の繋がりがあったので、無料で来ていただいたんですが、本来だったら講

演料が100万円以上かかりますというくらいに有名で引っ張りだこの先生ですので、是非この機会に皆さんも聞いていただければと思います。

ご質問などがなければ以上で本日の議題は全て終了いたしますが、皆さんが日頃気になってることなどあれば、ご発言いただきたいと思います。また、今日初めてこの会に参加される委員もいらっしゃいますので大野委員から、自己紹介と何か聞きたいと思ってることがあればお願いいたします。

○大野正美委員

大野正美と申します。今回からこの委員を拝命いたしまして、参加させていただきます。今日出席しまして、会議の中身が分かりましたので、今後自分の思っていることや参加して思ったことなどを発言していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○加藤和浩委員

今回2期目に入りました加藤と申します。今回特に意見ではないんですけども、愚痴を言わせてもらいますと、先ほどの防災無線が話題にあがりましたが、合併した時に仙北町ってすごく良いことをしてきたなど他の市町村の方から言われました。例えば、弘田柵跡や池田家という観光地もあるし、ふれあい文化センターなどの文化施設もあるし、他のところでは賑やかな施設がないので、いいなって言われることが多かったりします。前の町民体育館も大曲、仙北で1番最初に建てたものだったと思います。仙北町って、取りかかりが早いというか先進的な地域だったのかなと思ってます。防災無線の話に戻りますけれども、合併してから防災無線があるのは仙北地域だけなので、他の地域にないから故障した場合は修理せず、なくしようということになったと思いますけれども、そういうような良いものを、他のところがないからやめるという発想ではなくて、良いものだから他の地域にも広げていこうという風な発想を大仙市でも持っていただきたいなと思っております、仙北地域の「長」のつく皆さんに頑張っていたいただきたいという風に思います。以上です。

○小松彩香委員

はい。小松です。よろしくお願いします。特に話すこと考えてなかったのですが、真っ白なんですけれども、特になんという肩書きがあるわけではないのに、また引き続きここにおりますがどうかよろしくお願いします。

○小松徹委員

小松です。防災行政無線について言えば、在職中は私が担当でした。最初は防災行政無線がうるさい、チャイムが鳴ったり音楽が流れたりするので、無線の側に住まわれている方から、うるさいから止めてくださいということもありました。ですが、やり始

めれば皆さん慣れるんですね。いい時もありました。1つ壊れると、またたくさんお金がかかって大変な時もありました。今回全部なくなってしまうのですが、あのままの状態では、やはりどうしようもありませんので、これはやむを得ないことかなというように思います。

私から一つ意見をいいでしょうか。駐車場についてなんですけれども、職員は正面玄関側ではなく、車庫側のほうに止めればいいのではないのでしょうか。そうしますと、来庁される方々が広々と駐車場を使うことができると思うのですが。車庫側の駐車スペースがもったいないなと思います。いかがでしょうか。

○須田綾子委員

私は高梨で生まれ育ち、仕事もこの地域でさせてもらいましたけれど、自分の周りのことを全然知らなくて恥ずかしい時もあります。今2期目に入りますが、この会に入れさせてもらって、自分の生まれた地域を再認識してる、勉強させてもらってるということで、とてもありがたいなって思ってるところです。

今、池田氏庭園のボランティアに関わっているのですが、春のイベントデーというのが、30日・31日にあります。30日はマルシェですね。今までやったことのない人たちが来て、色々イベントをやってくれます。31日はお茶と親父バンドがあります。お茶は無料です。是非いらしていただきたいと思います。やはりたくさんの人に、それこそ地元のたちにも何度も足を運んで欲しいです。何度来ても感じるものって多分違うと思いますので、庭園の表情というか、良さを感じ取っていただいて、いろんな人に発信していただき、たくさんの人たちが訪れてくれることを願っています。よろしくお願いします。

○土井敦子委員

今年度から地域協議会に参加させていただくことになりました、弘田生まれ弘田育ちの土井敦子と申します。よろしくお願いいたします。今日参加させていただいて、広報でしか知らなかった事業内容ですとか、仙北地域独自の事業内容を知ることができて、勉強になったかなと感じているところです。今後とも少しでも地域のために、参加させてもらって勉強していきたいなと思いました。よろしくお願いいたします。

○室谷裕子委員

室谷と言います。2期目になりますけれども、何がなんだか分からない状態でこまできてしまいましたけど、私は転勤族で、30何年前に戻ってきました。本当に地元の人の人柄とかすごくいいなとも思っています。新聞のコラムなどを見ても、やっぱり秋田は風景などすごくいいとか載っていますので、そういった良いところを、やっぱりどんどん伸ばしていければ、できれば地元の意見もどんどん聞いてもらって、より

良い方向に行ければと思ってます。以上です。

○会長

ありがとうございました。この会は、今まで見たことがない事業だったり内容を詳しく聞くこともできるので、市民の目線で、色んな意見を遠慮なく発言していただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは事務局より諸事連絡などがありますか。

○碓谷副主幹

【手元の資料に基づいて連絡】

○会長

ありがとうございました。それでは予定より少し早いのですが、これを持ちまして令和8年度第1回仙北地域協議会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

(午後3時37分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

大野 正美

加藤 和浩
